

維新再起動!! ～都構想へ再挑戦!～

大阪維新の会は住民投票後、大阪の「二重行政」を解消するため都構想の対案たる「大阪戦略調整会議」（以下、大阪会議）に協力してきた。しかし、第2回の大阪会議において竹山塚市長と公明党以外の他会派のボイコットにより流会、機能不全をおこした。

いち早く大阪を成長させるため、11月に行われる大阪府知事・大阪市長のダブル選挙において、再度「大阪都構想」のバージョンアップを公約に掲げることとなった。

大阪維新「秋の陣」先勝

今夏行われた枚方市長選挙、維新元府議である伏見たかし氏が現職市長（自民・民主・共産が支援）を破り初当選をした。

5月17日の住民投票以来初の選挙。当初圧倒的に不利な状況の中、池下卓を含めた維新議員団が総力で応援をすることで大逆転を果たした。これにより、11月22日に行われるダブル選挙に大きく弾みをつけることになった。



▲枚方市長選挙にて応援演説をする池下府議

大阪府議会議員 池下卓のプロフィール



【経歴】

1975年高槻市山手町で父・節夫、母・友子の次男として生まれる。

高槻市立磐手小学校

高槻市立第八中学校

府立高槻北高校 卒業

龍谷大学大学院 修了。

専門学校講師、税理士事務所を経て税理士資格取得。大阪府議会議員（2期目）

現在は、高槻市古曽部町に在住。

【役職】

教育常任委員（平成23年度）

商工労働常任委員（平成24年度）

決算特別委員（平成24年度）

政務調査役員（平成25年度）

府民文化常任委員（平成25年度）

総務役員（平成26年度～現在）

健康福祉常任委員（平成27年度）

【その他】

高槻市消防団 磐手分団山手班、

(社)高槻青年会議所、商工会議所青年部に所属

大阪維新の会が原点回帰 ～国政政党化へ～

地域政党 大阪維新の会の橋下徹代表は8月29日夜、所属議員らによる全体会議において「大阪維新の会を国政政党化する」と述べた。

大阪維新の会の原点は、「地域（大阪）から日本を変えること」にある。

しかし、これらを実現することは、一部の既得権益にすり寄っていく団体ではできない改革である。政策が合わない野党再編では意味がない。

大阪維新の会は原点に立ち戻り、政策集団として国政政党を目指すこととなった。前出の全体会議において、橋下徹代表は「幕末から明治維新にかけては十数年、東京府から東京都になるのに四十数年かかった。大阪維新の会ができてから約6年、目標があってもそこに辿りつく地図もなく、（抵抗勢力がある中で）三歩進んで二歩下がるの繰り返しだ。それでも我々にはやり遂げなければならないことがある。」と述べた。

これからも大阪維新の会は立党の原点に立ち戻り、大阪の二重行政の解消から大阪の成長へ、さらには日本全体の発展のために力を尽くしていく。



▲枚方市において街頭演説する橋下徹代表 & 松井一郎幹事長

国政政党のたたき台のポイントは、「国家を再生させるためには、首都圏の一極集中から多極分散型への移行、地方の再生が不可欠」とし、「国の形を変えることを目的に設立する」と表明。

国政に地方の声を反映させるために「地方議員も、首

長も、国会議員と一緒に国政に参画する」と明記し、具体的には「国会での質問には、地方議員や首長が起草した内容が含まれる」と盛り込んだ。

◇新党、綱領のたたき台のポイント

- ▶ 自立する個人、自立する地域、自立する国家を実現する
- ▶ 首相公選制、一院制、大阪都構想を始めとする統治機構改革を実現する
- ▶ 政府の過剰な関与を見直し、自助、共助、公助の範囲と役割を明確にする
- ▶ 既得権益と闘う成長戦略により、産業構造の転換と労働市場の流動化を図る
- ▶ 「法の支配」「自由主義」「民主主義」等の価値を共有する諸国と連携し世界平和に貢献する